

第23回宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会

切れ目のない緩和ケアを実施するために、地域の医療従事者が集い、多職種による事例検討を行います。

今回、治療選択に迷いながら、当院で最期を迎えた19歳の患者さんの関わりを経験しました。がん治療に関して、積極的治療の手立てがない状況でしたが、ご両親は、最期まで治療を切望され、本人は、ご両親の想いに応えたいという気持ちと、治療をしたくないという気持ちの中で揺れながら、今後の療養の場の選択など、本人・ご両親・医療者の間で合意形成が図れず、調整に苦慮しました。

がん治療の限界や、医療現場にあるAYA世代特有の「希望を尊重する文化」という背景の中で、医療者がどのようにその想いをとらえ介入したのかを、事例を振り返りながら、ともに考え、AYA世代の支援につなげられたらと思います。

日時：令和2年2月26日(水)17:00～18:00(16:45受付開始)

場所：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階多目的室1

(別紙会場案内図をご参照ください)

※お車でお越しの方は病院外来の駐車場をご利用ください。
駐車券は、無料パンチをいたしますので、会場までご持参ください。

参加費：無料 対象：医療関係者

17:00～18:00 (各演者10分程度、グループワーク30分)

「最期まで治療を諦めなかったAYA世代の終末期絨毛がん患者と家族の関りを通して」

山口大学医学部附属病院

泌尿器科

山本 義明先生

山口大学医学部附属病院

看護部

大上 芙美代先生



お問い合わせ先：山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター事務局
Tel：0836-85-3070 FAX：0836-85-3071
E-mail：y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp

共催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター(令和元年第6回緩和ケアセンターセミナー)
山口大学医学部附属病院腫瘍センター(第106回腫瘍センターセミナー)
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム(令和元年第6回がん治療スキルアップセミナー)